



一般社団法人 日本病理学会
〒101-0041
東京都千代田区神田須田町2-17
神田INビル6階
TEL: 03-6206-9070
FAX: 03-6206-9077
E-mail: jsp.office@pathology.or.jp
https://pathology.or.jp

一般社団法人日本病理学会

第439号

令和6年(2024年)11月刊

1. 第70回秋期特別総会 終了

標記総会が開催され、盛会にて終了いたしました。

会期: 2024年11月7日(木), 8日(金)

会場: 日本教育会館・喜山倶楽部

(オンデマンド配信期間: 2024年11月19日(火)

正午~12月23日(月)正午)

会長: 東京科学大学 大橋 健一

2. 令和5年度事業報告ならびに収支決算について

令和6年11月7日開催の令和6年度秋期特別社員総会(第70回秋期特別総会・東京)において、標記の件が以下の通り承認されました。

(1) 令和5年度事業報告

(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

I. 学術集会, 研究会等の開催

1. 学術集会の開催

(1) 第112回日本病理学会総会

(於下関・池田栄二会長)

(2) 第69回日本病理学会秋期特別総会

(於久留米・矢野博久会長)

2. 研究会, 講習会等の開催

(1) 第19回日本病理学会カンファレンス

(2) 細胞診講習会・病理診断講習会・分子病理診断講習会・剖検講習会・分子病理専門医講習会・分子病理 Up to Date 講習会(兼 分子病理専門医 更新講習会)

(3) 第12回ゲノム病理標準化講習会

(4) 第17回診断病理サマーフェスト

(5) 各支部における学術・研究集会, 「夏の学校」等

3. 市民公開講座・シンポジウムの開催

II. 学会誌, 学術図書等の発行

1. 「日本病理学会会誌」の発行(第112巻第1~2号)

2. 「Pathology International」の発行(Vol. 73 4~12, Vol. 74 1~3)

3. 「診断病理」の発行(第40巻第2~4号, 第41巻第1号)

4. 「日本病理学会会報」の発行(第420~431号)

5. 「お知らせ」(第44号~45号)の発行

6. 「病理専門医部会報」の発行(令和5年第2~4号,

令和6年第1号)

III. 研究および調査並びに知識の普及

1. 「日本病理剖検輯報」の発行 第64輯(令和3年症例)
2. 剖検輯報編集方法の充実
3. 剖検記録データベースの更新
4. 病理学卒前教育の充実
5. インターネットホームページの充実
6. JP-AID デジタル病理画像データベースの運用
7. 産学連携がんゲノムスクリーニングプロジェクト SCRUM-Japan MONSTAR-SCREEN-2への協力
8. 政府等委託・研究事業等の実施
(1) 令和5年度厚生労働省補助金事業「希少がん診断のための病理医育成事業」

IV. 研究の奨励および研究業績の表彰

1. 日本病理学賞(宿題報告)の授与
2. 病理診断学賞(病理診断特別講演)の授与
3. 学術研究賞(A演説)の授与
4. 症例研究賞(B演説)の授与
5. 学術奨励賞の授与
6. 100周年記念病理学研究新人賞の授与

V. 病理専門医等の資格認定及び病理診断関連活動

1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験の実施及び資格の更新
2. 病理専門医の広報
3. 病理専門医研修施設の認定および資格の更新
4. 病理専門研修プログラムの運用指導
5. 分子病理専門医の認定・試験の実施及び資格の更新
6. 病理解剖研修の充実
7. 生涯教育の充実
8. 病理診断コンサルテーションシステムの充実
9. 病理精度管理体制の充実
10. 各種ガイドンス等の作成
11. 医療における病理診断・病理解剖の推進

VI. 学術団体等との協力, 連絡

1. 学術団体等との会議共催および後援(国内)の実施
2. 腫瘍取扱い規約等の改訂・「領域横断的癌取扱い規約」の更新
3. 海外病理学会との交流

VII. その他目的を達成するために必要な事業

1. 会員システムの充実
2. 医師賠償責任保険加入取扱いの実施

(2) 令和5年度決算報告書

1) 貸借対照表

2024年3月31日現在
(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	188,258,257	159,167,059	29,091,198
現金	1,179,224	670,641	508,583
普通預金	128,526,120	108,026,316	20,499,804
定期預金	0	0	0
郵便振替	12,370,000	3,516,085	8,853,915
支部現金預金	46,182,913	46,954,017	△ 771,104
未収金	15,578,000	841,000	14,737,000
前払金	5,778,503	5,778,503	0
前払費用	2,429,097	343,000	2,086,097
仮払金	66,162	200,000	△ 133,838
流動資産合計	212,110,019	166,329,562	45,780,457
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
学術医療振興基金引当預金	98,437,533	98,437,253	280
国際交流基金引当預金	20,155,982	20,156,472	△ 490
100周年記念事業引当資産	1,345,440	1,646,748	△ 301,308
退職給付引当預金	0	0	0
特定資産合計	119,938,955	120,240,473	△ 301,518
(3) その他固定資産			
建物付属設備	2,104,298	2,264,011	△ 159,713
器具工具備品	3,098,486	6,897,256	△ 3,798,770
保証金	5,000,000	5,000,000	0
長期貸付金	0	0	0
その他固定資産合計	10,202,784	14,161,267	△ 3,958,483
固定資産合計	160,141,739	164,401,740	△ 4,260,001
資産合計	372,251,758	330,731,302	41,520,456
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,802,319	2,321,982	△ 519,663
前受金	4,244,000	3,789,000	455,000
預り金	1,037,744	563,106	474,638
仮受金	355,000	375,000	△ 20,000
未払法人税等	2,783,600	1,065,700	1,717,900
未払消費税等	4,187,300	2,279,200	1,908,100
流動負債合計	14,409,963	10,393,988	4,015,975
2. 固定負債			
退職給付引当金	20,636,100	18,486,060	2,150,040
固定負債合計	20,636,100	18,486,060	2,150,040
負債合計	35,046,063	28,880,048	6,166,015
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0) .	(0) .	(0) .
(うち特定資産への充当額)	(0) .	(0) .	(0) .
2. 一般正味財産	337,205,695	301,851,254	35,354,441
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0) .
(うち特定資産への充当額)	(119,938,955)	(120,240,473)	(301,518)
正味財産合計	337,205,695	301,851,254	35,354,441
負債及び正味財産合計	372,251,758	330,731,302	41,520,456

2) 正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで
(単位: 円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
特定資産運用益	1,193	1,188	5
特定資産受取利息	1,193	1,188	5
受取会費	73,203,472	71,875,596	1,327,876
学術評議員会費	15,418,000	16,003,000	△ 585,000
一般会員年会費	36,557,472	34,876,596	1,680,876
賛助会員受取会費	100,000	100,000	0
終身会員費	3,500,000	3,600,000	△ 100,000
病理専門部会費	17,628,000	17,296,000	332,000
海外会員年会費	0	0	0
事業収益	210,669,174	205,579,912	5,089,262
学術集会収益	123,370,510	120,738,001	2,632,509
広告料収益	0	340,000	△ 340,000
輯報刊行物収益	8,752,000	8,786,790	△ 34,790
専門医制度収益	51,718,000	49,454,000	2,264,000
病理専門医部会収益	3,425,300	3,859,630	△ 434,330
講習会等収益	10,999,000	11,124,000	△ 125,000
支部集会等収益	4,636,149	3,460,288	1,175,861
賠償保険事務収益	3,498,215	3,516,203	△ 17,988
ゲノム講習会収益	4,270,000	4,301,000	△ 31,000
受取委託収益	355,000	0	355,000
受取委託収益	355,000	0	355,000
受取補助金等	36,819,010	38,042,360	△ 1,223,350
受取寄付金	8,397,804	5,432,000	2,965,804
受取寄付金	8,397,804	5,432,000	2,965,804
雑収益	53,764,023	30,846,188	22,917,835
受取利息	2,174	2,076	98
雑収益	1,630,469	1,844,678	△ 214,209
著作権協会分配金	214,746	171,963	42,783
PIロイヤリティ	8,650,428	8,498,925	151,503
著作権使用料	134,920	71,560	63,360
編集協力費収入	5,113,786	2,466,986	2,646,800
日病会誌	1,061,000	913,000	148,000
転載料	11,566,500	16,775,000	△ 5,208,500
DB WSI 使用料	25,390,000	102,000	25,288,000
経常収益計	383,209,676	351,777,244	31,432,432
(2) 経常費用			0
事業費	79,275,639	122,614,387	△ 43,338,748
給与手当	0	37,963,327	△ 37,963,327
臨時雇賃金	530,971	642,900	△ 111,929
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	43,951	△ 43,951
会議費	7,540,050	6,879,163	660,887
旅費交通費	7,981,578	5,865,847	2,115,731
通信運搬費	8,140,528	9,606,833	△ 1,466,305
消耗品費	2,952,993	1,628,889	1,324,104
修繕費	0	338,800	△ 338,800
印刷製本費	35,601,990	35,790,595	△ 188,605
光熱水料費	0	659,440	△ 659,440
賃借料	4,675,315	11,594,905	△ 6,919,590

諸謝金	11,852,214	11,599,737	252,477
租税公課	8,150	56,980	△ 48,830
支払負担金	2,116,200	0	2,116,200
支払助成金	2,946,124	1,821,812	1,124,312
支払寄付金	0	0	0
委託費	54,816,768	66,439,244	△ 11,622,476
雑費	2,190,436	2,311,415	△ 120,979
支払手数料	3,525,823	2,598,947	926,876
新聞図書費	15,950	89,595	△ 73,645
学術集會会場費	8,379,692	18,048,540	△ 9,668,848
学術集會設営費	55,881,050	33,572,681	22,308,369
学術集會人件費	16,433,700	13,720,091	2,713,609
学術集會業務委託費	11,654,182	1,512,817	10,141,365
学術集會広告費	1,264,616	3,040,686	△ 1,776,070
学術集會印刷費	320,887	3,432,405	△ 3,111,518
学術集會会議費	9,796,491	3,702,506	6,093,985
学術集會諸費用	20,443,802	16,898,322	3,545,480
学術集會 WEB 費用	1,871,925	26,454,986	△ 24,583,061
管理費	76,313,498	26,943,845	49,369,653
給与手当	39,016,797	0	39,016,797
臨時雇賃金	360,000	370,000	△ 10,000
退職給付費用	2,150,040	2,731,140	△ 581,100
福利厚生費	43,495	0	43,495
会議費	0	0	0
旅費交通費	921,980	24,270	897,710
通信運搬費	324,548	257,833	66,715
消耗品費	179,331	1,864,817	△ 1,685,486
法定福利費	5,957,651	6,022,196	△ 64,545
修繕費	0	990,000	△ 990,000
印刷製本費	817,470	133,220	684,250
光熱水料費	618,962	0	618,962
賃借料	9,945,056	0	9,945,056
保険料	0	42,510	△ 42,510
諸謝金	565,205	431,370	133,835
租税公課	9,472,127	5,364,915	4,107,212
支払負担金	0	1,598,550	△ 1,598,550
支払助成金	900,000	200,000	700,000
委託費	751,313	638,870	112,443
雑費	399,617	314,445	85,172
減価償却費	3,578,188	5,198,408	△ 1,620,220
支払手数料	311,718	761,301	△ 449,583
経常費用計	347,254,933	343,259,259	3,995,674
評価損益等調整前当期経常増減額	35,954,743	8,517,985	27,436,758
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	35,954,743	8,517,985	27,436,758
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産売却損	600,302	0	600,302
経常外費用計	600,302	0	600,302
当期経常外増減額	△ 600,302	0	△ 600,302
一般事業振替	7,869,895	2,332,958	5,536,937
支部会計振替	△ 7,653,000	△ 7,123,000	△ 530,000
委託事業振替	810,898	5,893,462	△ 5,082,564
収益事業振替	△ 1,027,793	△ 1,103,420	75,627
税引前当期一般正味財産増減額	35,354,441	8,517,985	26,836,456
法人税、住民税及び事業税	0	0	0

当期一般正味財産増減額	35,354,441	8,517,985	26,836,456
一般正味財産期首残高	301,851,254	293,333,269	8,517,985
一般正味財産期末残高	337,205,695	301,851,254	35,354,441
II. 指定正味財産増減の部			0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	337,205,695	301,851,254	35,354,441

3) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 建物付属設備

定額法によっている。

② 器具工具備品

定率法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職金給付引当金・・・従業員の退職給付に備えるため、当期末における要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
学術医療振興基金引当預金	98,437,253	830	550	98,437,533
国際交流基金引当預金	20,156,472	170	660	20,155,982
100周年記念事業引当預金	1,646,748	12	301,320	1,345,440
合計	150,240,473	1,012	302,530	149,938,955

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
普通預金	30,000,000	0	30,000,000	0
特定資産				
学術医療振興基金引当預金	98,437,533	0	98,437,533	0
国際交流基金引当預金	20,155,982	0	20,155,982	0
100周年記念事業引当預金	1,345,440	0	1,345,440	0
合計	149,938,955	0	149,938,955	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	2,383,795	279,497	2,104,298
器具工具備品	32,272,772	29,174,286	3,098,486
合計	34,656,567	29,453,783	5,202,784

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
希少がん病理診断支援補助金	厚生労働省	0	35,237,000	0	35,237,000	一般正味財産
各支部での補助金	その他民間団体等	0	1,172,000		1,172,000	一般正味財産
助成金	WILLY	0	410,010	0	410,010	一般正味財産

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	0
合 計	0

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記2.基本財産及び特定資産の増減及びその残高に記載しているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	18,486,060	2,150,040	0	0	20,636,100

4) 財産目録

2024年3月31日現在 (単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			
現金	手元保管	運転資金として	1,179,224
普通預金			128,526,120
	みずほ銀行 本郷支店	運転資金として (一般用)	42,368,003
	みずほ銀行 本郷支店	運転資金として (専門医用)	11,176,512
	みずほ銀行 本郷支店	運転資金として (専門医部会用)	5,966,985
	みずほ銀行 本郷支店	運転資金として (剖検用)	6,886,072
	みずほ銀行 本郷支店	運転資金として (保険用)	19,538,402
	みずほ銀行 本郷支店	運転資金として (研究費用)	23,002,791
	みずほ銀行 本郷支店	運転資金として (口腔病理用)	926,734
	みずほ銀行 本郷支店	運転資金として (退職引当用)	18,485,246
	三菱 UFJ 銀行 本郷支店	運転資金として (基本財産運用用)	175,375
振替口座			12,370,000
	ゆうちょ銀行	運転資金として	12,370,000
支部現金預金			46,182,913
	各支部現金預金	運転資金として	46,182,913
未収金			15,578,000
前払金			5,778,503
	(株) ブルボックス 事務所賃借料		778,503
	第113回春期総会準備金		5,000,000

		第 66 回秋期総会準備金		0
		第 17 回日本病理学会カンファレンス		0
		ゲノム講習会用書籍		0
	前払費用			2,429,097
		ICCR membership subscription		363,775
		(株) ファインデックス画像外部保管システム		152,167
		BIPROGY (株) ソフトウェア使用料		1,913,155
	仮払金			66,162
流動資産合計				212,110,019
(固定資産)				
基本財産	普通預金	普通預金 三菱 UFJ 銀行 本郷支店		30,000,000
特定資産	学術医療振興基金引当預金	普通預金 三菱 UFJ 銀行 春日町支店		98,437,533
	国際交流基金引当預金	普通預金 りそな銀行 本郷支店		20,155,982
	100 周年記念事業引当預金	普通預金 みずほ銀行 本郷支店		1,345,440
その他固定資産	建物付属設備	パーティション工事等		2,104,298
	器具工具備品	サーバー等	希少がん用	3,098,486
	保証金	神田 IN ビル		5,000,000
	長期貸付金	日本専門医機構		
固定資産合計				160,141,739
資産合計				372,251,758
(流動負債)				
	未払金			1,802,319
		BIPROGY (株)		550,000
		アデコ (株)		403,080
		ANA クラウンプラザホテルグランコト名古屋		238,000
		(株) 大塚商会		93,721
		その他		517,518
	前受金			4,244,000
		終身会費部会		3,900,000
		分子病理専門医試験受験料		0
		令和 5 年度一般会費		344,000
		専門医試験受験料他		0
	預り金			1,037,744
		源泉所得税		210,820
		住民税		129,700
		社会保険料		409,632
		謝金源泉所得税		266,092
		年会費等		21,500
	仮受金			355,000
		(公財) がんの子供を守る会		355,000
		野呂昌弘氏 (専門医認定手数料)		0
	未払法人税等	法人税及び住民税、事業税		2,783,600
	未払消費税等	消費税確定納付分		4,187,300
流動負債合計				14,409,963
(固定負債)				
	退職給付引当金			20,636,100
流動負債合計				20,636,100
負債合計				35,046,063
正味財産				337,205,695

3. 令和7年度事業計画ならびに収支予算について

令和6年11月7日開催の令和6年度秋期特別社員総会（第70回秋期特別総会・東京）において、標記の件が以下の通り承認されました。

(1) 令和7年度事業計画

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

I. 学術集会、研究会等の開催

1. 学術集会の開催

- (1) 第114回日本病理学会総会
(於仙台・古川徹会長)
- (2) 第71回日本病理学会秋期特別総会
(於名古屋・都築豊徳会長)

2. 研究会、講習会等の開催

- (1) 第21回日本病理学会カンファレンス
- (2) 細胞診講習会・病理診断講習会・剖検講習会・先端的分子病理学講習会・分子病理診断講習会・分子病理専門医講習会・分子病理専門医更新講習会
- (3) 第14回ゲノム病理標準化講習会
- (4) 第19回診断病理サマーフェスト
- (5) 各支部における学術・研究集会、「夏の学校」等

3. 市民公開講座・シンポジウムの開催

II. 学会誌、学術図書等の発行

- 1. 「日本病理学会会誌」の発行（第114巻第1～2号）
- 2. 「Pathology International」の発行（Vol. 75 4～12, Vol. 76 1～3）
- 3. 「診断病理」の発行（第42巻第2～4号, 第43巻第1号）
- 4. 「日本病理学会会報」の発行（第444～455号）
- 5. 「お知らせ」（第48号～49号）の発行
- 6. 「病理専門医部会報」の発行（令和7年第2～4号, 令和8年第1号）

III. 研究および調査並びに知識の普及

- 1. 「日本病理剖検輯報」の発行 第66輯（令和5年症例）
- 2. 剖検輯報データベースの運用
- 3. 病理学卒前教育の充実

- 4. 公式 Web サイト、SNS 等の充実
- 5. 小中高生・医学生・市民向け広報企画の実施
- 6. JP-AID デジタル病理画像データベースの運用
- 7. 産学連携がんゲノムスクリーニングプロジェクト SCRUM-Japan MONSTAR-SCREEN-2 への協力
- 8. 政府等委託・研究事業の実施

IV. 研究の奨励および研究業績の表彰

- 1. 日本病理学賞（宿題報告）の授与
- 2. 病理診断学賞（病理診断特別講演）の授与
- 3. 学術研究賞（A 演説）の授与
- 4. 症例研究賞（B 演説）の授与
- 5. 学術奨励賞の授与
- 6. 100周年記念病理学研究新人賞の授与

V. 病理専門医等の資格認定及び病理診断関連活動

- 1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験の実施及び資格の更新
- 2. 病理専門医の広報
- 3. 病理専門医研修施設の認定および資格の更新
- 4. 病理専門研修プログラムの運用指導
- 5. 分子病理専門医の認定・試験の実施及び資格の更新
- 6. 病理解剖研修の充実
- 7. 生涯教育の充実
- 8. 病理診断コンサルテーションシステムの充実
- 9. 病理精度管理体制の充実
- 10. 各種ガイダンス等の作成
- 11. 医療における病理診断・病理解剖の推進
- 12. 医療安全確保への貢献

VI. 学術団体等との協力、連絡

- 1. 学術団体等との会議共催および後援（国内）の実施
- 2. 腫瘍取扱い規約等の改訂・「領域横断的癌取扱い規約」の更新
- 3. 海外病理学会との交流

VII. その他目的を達成するために必要な事業

- 1. 会員システムの充実
- 2. 若手病理医・研究医の育成
- 3. 医師賠償責任保険加入取扱いの実施

(2) 令和7年度収支予算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			0
基本財産受取利息	0		0
特定資産運用益	9,785	1,188	8,597
特定資産受取利息	9,785	1,188	8,597
受取会費	73,994,000	73,853,000	141,000
学術評議員会費	15,665,000	15,210,000	455,000

一般会員年会費	36,699,000	37,661,000	△ 962,000
賛助会員受取会費	100,000	100,000	0
終身会員費	3,500,000	3,200,000	300,000
病理専門部会費	18,030,000	17,682,000	348,000
事業収益	212,338,174	204,628,912	7,709,262
学術集会収益	126,150,510	120,738,001	5,412,509
広告料収益	0	340,000	△ 340,000
輯報刊行物収益	8,557,000	8,786,790	△ 229,790
専門医制度収益	51,718,000	49,454,000	2,264,000
病理専門医部会収益	2,509,300	2,939,630	△ 430,330
講習会等収益	10,999,000	11,124,000	△ 125,000
支部集会等収益	4,636,149	3,460,288	1,175,861
賠償保険事務収益	3,498,215	3,516,203	△ 17,988
ゲノム講習会収益	4,270,000	4,270,000	0
受取補助金等	41,937,010	32,697,360	9,239,650
受取寄付金	8,397,804	5,400,000	2,997,804
受取寄付金	8,397,804	5,400,000	2,997,804
雑収益	33,503,365	20,398,171	13,105,194
受取利息	16,212	2,076	14,136
雑収益	1,469,433	1,844,678	△ 375,245
著作権協会分配金	214,746	171,963	42,783
PI ロイヤリティ	8,187,928	8,217,908	△ 29,980
著作権使用料	134,920	71,560	63,360
編集協力費収入	3,947,876	2,466,986	1,480,890
日病会誌	1,061,000	913,000	148,000
転載料	5,783,250	6,710,000	△ 926,750
DB WSI 使用料	10,312,000	0	10,312,000
不動産使用収益	2,376,000	0	2,376,000
経常収益計	370,180,138	336,978,631	33,201,507
(2) 経常費用			
事業費	83,073,789	263,736,701	△ 180,662,912
給与手当	0	0	0
臨時雇賃金	530,971	642,900	△ 111,929
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
会議費	7,820,050	8,216,663	△ 396,613
旅費交通費	8,281,578	7,703,347	578,231
通信運搬費	8,140,528	9,606,833	△ 1,466,305
消耗什器備品費		0	0
消耗品費	3,052,993	1,628,889	1,424,104
修繕費		338,800	△ 338,800
印刷製本費	37,661,990	37,128,095	533,895
光熱水料費	0	0	0
賃借料	4,675,315	3,363,733	1,311,582
諸謝金	12,902,214	12,937,237	△ 35,023
租税公課	8,150	56,980	△ 48,830
支払負担金	2,116,200	2,105,600	10,600
支払助成金	2,946,124	1,821,812	1,124,312
委託費	53,829,216	47,406,533	6,422,683
雑費	2,190,436	2,311,415	△ 120,979
支払手数料	2,367,523	1,996,235	371,288
新聞図書費	115,950	89,595	26,355
学術集会同会場費	13,943,302	20,047,540	△ 6,104,238
学術集会設営費	61,386,296	35,572,681	25,813,615
学術集会人件費	18,030,990	13,720,091	4,310,899
学術集会業務委託費	12,655,007	3,512,817	9,142,190
学術集会広告費	1,387,144	3,040,686	△ 1,653,542
学術集会印刷費	320,887	3,432,405	△ 3,111,518
学術集会同会議費	10,702,776	3,702,506	7,000,270

学術集会諸費用	22,170,659	16,898,322	5,272,337
学術集会 WEB 費用	2,059,117	26,454,986	△ 24,395,869
管理費	78,640,699	72,308,894	6,331,805
給与手当	42,493,408	41,419,493	1,073,915
退職給付費用	2,891,700	2,743,380	148,320
福利厚生費	43,495	51,120	△ 7,625
旅費交通費	1,017,460	884,360	133,100
通信運搬費	324,548	257,833	66,715
消耗品費	179,331	260,612	△ 81,281
法定福利費	6,372,179	6,629,096	△ 256,917
印刷製本費	817,470	133,220	684,250
光熱水料費	618,962	686,043	△ 67,081
賃借料	9,945,056	9,342,036	603,020
保険料	42,510	42,510	0
諸謝金	565,205	431,370	133,835
租税公課	9,472,122	5,901,406	3,570,716
支払助成金	900,000	0	900,000
委託費	751,313	638,870	112,443
雑費	399,617	314,445	85,172
減価償却費	1,494,605	2,423,100	△ 928,495
支払手数料	311,718	150,000	161,718
経常費用計	367,936,115	336,045,595	31,890,520
評価損益等調整前当期経常増減額	2,244,023	933,036	1,310,987
当期一般正味財産増減額	2,244,023	933,036	1,310,987

4. 第 71 回（令和 7 年/2025 年）日本病理学会秋期特別総会学術研究賞，症例研究賞について（公募のお知らせ）

令和 7 年/2025 年秋開催予定の第 71 回日本病理学会秋期特別総会（名古屋）における学術研究賞と症例研究賞の募集をいたします。

これら賞の応募内容は、以下の要件を満たすことといたします。

学術研究賞とは：

病理学領域における特定の課題について、優れておりかつ蓄積した業績を挙げていると判断された会員（学術評議員）が、秋期特別総会における講演により、会員の病理に関する学術、医療の振興とその普及に資することを企図して学術研究賞を設ける。

学術研究賞の内容は、以下の要件を満たすものとする。

- (1) 優れており、かつ蓄積された研究であること。
- (2) 原則として日本国内で行われた研究であること。
- (3) 内容に関する責任の明確な研究者による発表で、内容は共同研究によるものであっても発表者自身はそれを代表するものであること、従って単独名が望ましい。

尚、Pathology International へ総説を投稿すること。

受賞者は、ヨーロッパ病理学会の派遣候補として推薦する場合があります。

症例研究賞とは：

病理学領域における特定の疾患について、症例の蓄積による解析及び病理診断・病態解明に寄与する優れた症例研

究業績を挙げていると判断された会員（学術評議員および学術評議員経験者）が、秋期特別総会における講演により、会員の病理に関する学術、医療の振興とその普及に資することを企図して症例研究賞を設ける。

症例研究賞の内容は、以下の要件を満たすものとする。

- (1) 症例の蓄積による解析及び病理診断・病態解明に寄与する優れた研究であること。
- (2) 内容に関する責任の明確な研究者による発表で、内容は共同研究によるものであっても発表者自身はそれを代表するものであること、従って単独名が望ましい。

尚、Pathology International へ総説を投稿することが望ましい。

学術研究賞，症例研究賞受賞者として講演することを希望する会員は、下記の要領でご応募ください。

記

学術研究賞

- (1) 応募資格：日本病理学会学術評議員
- (2) 提出書類：下記参照 HP よりダウンロードしてください。

※書式は毎年変更があるのでご留意下さい。

※応募書類は以下を PDF 化した電子媒体（すべての書類をひとつの PDF ファイルとしてつなげたもの）にて提出して下さい。

- ① 日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録（900 字以内）などを記載したもの。
- ② 講演内容に直接関係のある自著論文 20 編以内の

一覧。

*③の別刷をつけた業績の先頭に「○」印をつけて下さい。

③ 上記自著論文一覧の中から代表的な自著論文の別刷(5編以内)。

上記①～③の書類を、順番にひとつのPDFファイルとしてつないでお送り下さい。

*ひとつのフォルダ内に複数のPDF化されたファイルを入れて提出されたものは受け取りできません。

提出先：日本病理学会事務局

(3) 提出方法：

① 応募書類送付の前に、応募申請のe-mailをお送り下さい。

e-mail：jsp.office@pathology.or.jp

申請メールと応募書類の2つがそろって応募完了となりますのでご留意下さい。

- i) e-mailの件名：「学術研究賞応募申請」会員番号
- ii) 1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属(教室名は正式名称で記載) 4. 演題名を記載して下さい。

② ①の申請メール送信後、応募書類(すべての必要書類をひとつのPDFファイルとしてつないだもの)をPDF電子媒体として下記のURLよりアップロードして下さい。

応募書類の提出先：

<https://biz.datadeliver.net/posts/gakujyutsu2025a>

- i) アップロードの際にコメント欄にお名前と会員番号を機入して下さい。
- ii) ファイル受領から「業務日」3日以内に受領メールを返信いたします。受領メールが届かない場合は、すみやかに事務局にお問い合わせ下さい。
- iii) 各種連絡や審査用資料の作成は、会員システムに登録された情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

(4) 募集締切：

令和7年1月19日(日) 必着

症例研究賞

(1) 応募資格：日本病理学会学術評議員および学術評議員経験者

(2) 提出書類：下記参照HPよりダウンロードしてください。

*書式は毎年変更があるのでご留意下さい。

*応募書類は以下をPDF化した電子媒体(すべての書類をひとつのPDFファイルとしてつなげたもの)にて提出して下さい。

① 日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録(900字以内)などを記載したもの。

② 講演内容に関係のある自著論文10編以内の一覧。

*③の別刷をつけた業績の先頭に「○」印をつけて下さい。

③ 上記自著論文一覧の中から代表的な自著論文の別刷(3編以内)。

上記①～③の書類を、順番にひとつのPDFファイルとしてつないでお送り下さい。

*ひとつのフォルダ内に複数のPDF化されたファイルを入れて提出されたものは受け取りできません。

提出先：日本病理学会事務局

(3) 提出方法：

① 応募書類送付の前に、応募申請のe-mailをお送り下さい。

e-mail：jsp.office@pathology.or.jp

申請メールと応募書類の2つがそろって応募完了となりますのでご留意下さい。

- i) e-mailの件名：「症例研究賞応募申請」会員番号
- ii) 1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属(教室名は正式名称で記載) 4. 演題名を記載して下さい。

② ①の申請メール送信後、応募書類(すべての必要書類をひとつのPDFファイルとしてつないだもの)をPDF電子媒体として下記のURLよりアップロードして下さい。

応募書類の提出先：

<https://biz.datadeliver.net/posts/gakujyutsu2025b>

- i) アップロードの際にコメント欄にお名前と会員番号を記入して下さい。
- ii) ファイル受領から「業務日」3日以内に受領メールを返信いたします。受領メールが届かない場合は、すみやかに事務局にお問い合わせ下さい。
- iii) 各種連絡や審査用資料の作成は、会員システムに登録された情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

(4) 募集締切：

令和7年1月19日(日) 必着

第71回日本病理学会秋期特別総会における学術研究賞、症例研究賞受賞者は、令和7年3月の学術委員会において厳正・公明に選考し、その後の理事会での審議によって決定いたします。

本件についてご質問がありましたら、日本病理学会事務局までお問い合わせ下さい。

日本病理学会事務局：jsp.office@pathology.or.jp

参照HP：

<https://www.pathology.or.jp/news/gakujyutu/2025AB.html>

5. 令和6年度学術奨励賞受賞候補者の応募について

令和6年度学術奨励賞受賞候補者を以下のとおり募集いたします。応募内容は、以下の要件を満たすことといたします。

学術奨励賞とは：

学術奨励賞は、病理学領域における研究と診断の中で特に優れた学術的貢献を行った本学会若手会員に対して与えられる賞です。

応募資格について

- (1) 年度末（令和7年3月31日）において、継続した5年以上の会員歴をもつ40歳以下の会員、あるいは継続した5年以上の会員歴をもつ学位取得後11年未満の会員であること。
- (2) 推薦にかかわる学術評議員各位は、応募者の研究歴・業績などが学術奨励賞に相応しいことを確認した上で推薦すること。

受賞者には、第114回総会（令和7/2025年4月 於 仙台）にて開催予定の「学術奨励賞受賞者講演」において英語での口演をいただく予定です。

その際の優秀者は令和8/2026年度ドイツ病理学会派遣候補者（本学会より渡航費補助金15万円支給）に推薦されます。

応募要領

- 1) 募集人数：
本年度は、数名への授与を予定しています。

- 2) 提出書類：
下記参照HPよりダウンロードしてください。

※下記(1)と(3)が一式になっています。

※書式は毎年変更があるのでご留意下さい。

※応募書類は以下をPDF化した電子媒体（すべての書類をひとつのPDFファイルとしてつなげたもの）にて提出して下さい。

- (1) 「日本病理学会学術奨励賞申請書」

申請者が上記よりダウンロードした書式に必要事項を記入、押印したものをPDF化して下さい。

* (2) の別刷をつけた業績の先頭に「○」印をつけて下さい。

- (2) 本課題に関連する論文の別刷り（3編以内）

- (3) 「日本病理学会学術奨励賞受賞候補者推薦書」

推薦者が上記よりダウンロードした書式に必要事項を記入、押印したものをPDF化して下さい。

上記(1)～(3)の書類を、順番にひとつのPDFファイルとしてつなげてお送り下さい。

*ひとつのフォルダ内に複数のPDF化されたファイルを入れて提出されたものは受け取りできません。

提出先：日本病理学会事務局

- 3) 提出方法：

申請は受賞候補者となる本人から書類をお送り下さい。

- (1) 応募書類送付の前に、応募申請のe-mailをお送り下さい。

e-mail：jsoffice@pathology.or.jp

申請メールと応募書類の2つがそろって応募完了となりますのでご留意下さい。

- ① e-mailの件名：「学術奨励賞応募申請」会員番号
- ② 1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属（教室名は正式名称で記載） 4. 申請課題名もしくは功績名を記載して下さい。
- (2) 上記(1)の申請メール送信後、応募書類（すべての必要書類をひとつのPDFファイルとしてつなげたもの）をPDF電子媒体として下記のURLよりアップロードして下さい。

応募書類の提出先：

<https://biz.datadeliver.net/posts/Incitementaward2024>

- ① アップロードの際にコメント欄にお名前と会員番号を記入して下さい。
- ② ファイル受領から「業務日」3日以内に受領メールを返信いたします。受領メールが届かない場合は、すみやかに事務局にお問い合わせ下さい。
- ③ 各種連絡や審査用資料の作成は、会員システムに登録された情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。
- 4) 募集締切：令和7年1月19日（日）必着
- 5) 学術奨励賞受賞者（受賞者）には、賞状と記念品が贈呈されます。
- 6) 賞の授与は、次年度の総会において理事長が行います。
- 7) 尚、本件についてご質問などがありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

日本病理学会事務局：jsoffice@pathology.or.jp

参照HP：

<https://www.pathology.or.jp/news/gakujyutu/R06Incitement-award.html>

6. 日本病理学会100周年記念病理学研究新人賞の公募について

2011年（平成23年）に日本病理学会は創立100周年を迎えました。日本病理学会100周年記念事業実行委員会では、病理学の医学・医療における位置づけを再確認し、病理学会のあるべき姿と進むべき方向を、より多くの方々と語り合う機会として、創立100周年記念事業を行いました。さらに、これらの事業と東日本大震災への義援金に加えて、日本病理学会の発展に資するプロジェクトを募集し、2020年までの10年間にわたって実施することと致しました。「日本病理学会100周年記念病理学研究新人賞」は、「病理医・研究医の育成とリクルート委員会（旧・若手医師確保に関する委員会）」が応募し、採用された公募プロジェクトです。本プロジェクトは、その後、理事会にて継続が認められました。

本プロジェクトの概要：

将来的に日本の病理学がバランスよく発展していくためには、臨床側面である病理診断だけでなく、その基盤とな

る病理学研究も強力に推進する必要がある。ところが昨今の若手医師の研究指向者の激減は憂慮すべき問題である。この問題を少しでも解決するべく、2011年から、病理学研究新人賞を設定し、若手医師の大学院生を鼓舞することとした。選考は書面による1次審査（8名以内）と春期の病理学会総会時において口頭発表による2次審査を行い、今年度は3名を選出する。春期の日本病理学会総会で表彰し、賞金10万円を付与する。

下記の要領で候補者を公募します。

対象：

以下のすべての要件を満たす者を本賞応募の対象者とする。

- 1) 日本の大学の医学部・歯学部大学院病理学教室（あるいはそれに相当する教室）博士課程に所属する学生であること（年度内）。
- 2) 応募翌年度の4月1日において、33歳以下であること。（1月19日メ切）
（令和6年度対象者：平成3年4月2日以降生まれ）
- 3) 日本の医師免許あるいは歯科医師免許を有する者。ただし、日本の大学のMD/PhDコースの学生で博士課程に所属する者は応募可能とする。
- 4) 1年間以上、日本病理学会の会員である者。
- 5) ただし、出産・育児休暇（休学を含む）を医学部・歯学部入学以降に取っていた場合、大学・病院・指導教官（ただし、日本病理学会学術評議員に限る）などによる証明書（任意の形式）を提出することにより、同期間（最大2年間まで）の年齢制限の延長を認めることとする。

募集締切：令和7年1月19日（日）23:59 必着

提出書類：

*応募書類は以下をPDF化した電子媒体（すべての書類をひとつのファイルとしてつなげたもの）にて提出していただくことになっております。

すべてA4の大きさのPDFで提出のこと。

下記の書類を、順番にひとつのPDFファイルにつなげてお送り下さい。

*ひとつのフォルダ内に複数のPDF化した書類を入れて提出されたものはお受け取りできません。

- 1) 履歴書（高校卒業以降、生年月日・連絡先を含めること）
- 2) 業績録（著者名をすべて記載し、代表論文3編までに限って、要旨を含む第1ページのコピー1枚ずつを提出）
- 3) 本人自身の研究業績の要約（1枚、必ずタイトルをつけること）
- 4) 所属講座の教授、あるいは指導教官（ただし、日本病理学会学術評議員に限る）の推薦書（1枚）
- 5) 大学院在籍証明書（コピー可、秋修了の方は修了証明書）

- 6) 医師免許証のコピー（MD/PhDコースの学生は不要）
- 7) 受賞した場合、受賞後2年以内に本学会学会誌 Pathology International へ投稿を行うという誓約書（形式自由；原著あるいは総説で共著可）。
- 8) 指導教官（ただし、日本病理学会学術評議員に限る）などによる出産・育児休暇（休学を含む）の証明書（任意の形式；該当者のみ）

※尚、受賞後、応募時提出内容に虚偽があることが判明した場合、後日審議の上、受賞の取り消しならびに賞金の返還を求めることがある。

提出先：日本病理学会事務局

- (1) 応募書類送付の前に、応募申請のE-mailをお送り下さい。E-mail：jsp.office@pathology.or.jp
申請メールと応募書類の2つがそろって応募完了となりますのでご留意下さい。

- ① E-mailの件名として「病理学研究新人賞応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。
- ② 1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属（教室名まで正式名称を） 4. 研究業績の要約のタイトルを記載下さい。

- (2) 上記(1)の申請メール送信後、応募書類（すべての書類をひとつのPDFファイルとしてつなげたもの）をPDF電子媒体として下記のURLよりアップロードして下さい。

応募書類提出先：

<https://biz.datadeliver.net/posts/rookieaward2024>

- ① アップロードの際にコメント欄にお名前と会員番号を記入して下さい。
- ② ファイル受領から「業務日」3日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。
- ③ 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

選考予定：

1次審査の結果は、令和7年2月末日までにメールで連絡する。今年度の2次審査は、令和7年4月18日（金）午後12時に第114回日本病理学会総会（仙台）において実施する（発表10分、質疑5分の予定）。2次審査は公開とし、そのプログラムはウェブで告知する。なお、2次審査参加のための交通費・宿泊費ならびに総会参加費は各自の負担とする。

受賞者は翌日の表彰式に必ず出席すること。やむを得ず欠席する場合は、必ず代理を立てること。代理なしの無断欠席の場合、賞金10万円は辞退したものとみなす。

参照 HP：

<https://www.pathology.or.jp/jigyou/100syuunen/R6rookie-award.html>

7. 第73回（令和9/2027年度）秋期特別学術集會会長
ならびに第117回（令和10/2028年度）学術集會会
長の募集について（公募のお知らせ）

一般社団法人日本病理学会は、第73回（令和9/2027年度）秋期特別学術集會会長ならびに第117回（令和10/2028年度）学術集會会長を以下のとおり募集いたします。

日本病理学会秋期特別学術集會（秋期特別総会）の会長ならびに学術集會（春期総会）の会長は、定款施行細則の定めるところにより、いずれも理事会が選考し、総会において決定しています。

ここに、第73回（令和9/2027年度）秋期特別学術集會会長ならびに第117回（令和10/2028年度）学術集會会長を、下記の要領により募集いたします。

記

1. 応募は自薦であること。
2. 応募者は、第73回秋期特別学術集會会長の場合は令和9/2027年11月1日に、また、第117回春期学術集會会長の場合は令和10/2028年4月1日にそれぞれ満65歳以下の日本病理学会学術評議員であること。
3. 応募者は、日本病理学会学術集會開催要領（別記）の趣旨を踏まえて、所定の用紙に学術集會に対する考え方、学術集會の具体的な実行計画、日本病理学会及び関連学会において近年に行った主要な学術活動等を記載すること。記入に際しては、用紙に適切に収まるよう配慮すること。
4. 署名欄には直筆で氏名を記入すること。
5. 応募の締切りは、令和7年1月15日（水）必着とすること。

なお、所定用紙の交付または本件についての質問がありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

日本病理学会事務局 E-mail: jsp.office@pathology.or.jp
TEL: 03-6206-9070

提出方法

- ① 応募書類送付の前に、応募申請のE-mailをお送りください。
 - i) E-mailの件名として「第73回秋期特別学術集會会長応募申請」あるいは「第117回春期学術集會会長応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載してください。
 - ii) 1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属（教室名まで正式名称を）を記載してください。
- ② ①の申請メール送信後、応募書類（すべての書類をひとつのPDFファイルとしてつないだもの）をPDF電子媒体としてメールに添付するかたちで送付してください。
 - i) 件名・表題等は「第73回秋期特別学術集會会長応募書類送付」あるいは「第117回春期学術集會

会長応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載してください。

- ii) ファイル受領から「業務日」3日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせください。
- iii) 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

提出先

一般社団法人日本病理学会 会長公募受付係

E-mail: jsp.office@pathology.or.jp

※下記よりダウンロードしてください

参照 HP:

<https://www.pathology.or.jp/news/kaichouboshuu-241114.html>

【別記】

日本病理学会学術集會開催要領

本学術集會開催要領は、学術集會改革案（平成18年5月1日決定）の主旨に基づき、国際化への対応を含め、改めて学術集會の開催に係る要領を定めたものである。

「背景」

日本病理学会は「病理学に関する学理及びその応用についての研究の振興とその普及を図り、もって学術の発展と人類の福祉に寄与する」ことを目的としており、学術集會は「病理学に関わる学会員が研究発表と意見交換を通して持続的な後継者の育成をするとともに、病理学に関する最新情報の収集を行う場」として重要な役割を担っている。病理学が対象とする分野は広く、基礎研究においては様々な研究手段や技術を包含するのみならず、病理診断の精度向上は社会的要請として日本病理学会に課せられている。これら多種多様な分野の連結を図り、新たな医学と医療の発展に寄与するとともに、医療の質を担保する専門医制度の運用と会員の医療レベルの向上に努める必要がある。一方、学問・技術の進歩による研究活動の深化と拡散化、業務の拡大や専門化、支部活動の活性化、学会・研究会の増加などにより、学会員の学術集會に求めるところも変化してきている。さらに、若手病理医・研究医の育成、国際化への対応も重要な課題となっている。

「開催要領」

これらの日本病理学会における命題・課題をふまえ、学術集會では「学術研究活動の発表・意見交換」と「診断病理に関する最新情報の収集」を乖離することなく保証し、次に掲げる観点に添って開催する。

- (1) 病理学に関わる学会員の学術成果の発表の場を提供し、発表を通して若手研究者・病理医の育成を行う。
- (2) 蓄積された完成度の高い研究成果や中堅クラスの研究発表を通して病理医・研究者を育成・刺激する。
- (3) 病理診断・専門医に関連する講習会を通じて診断精度の維持・向上と新知識の習得を保証し、病理診断医育

成を図るとともに、基礎病理学的研究と診断病理学的知見を結びつける研究の推進と発表を促進する。

(4) 世界への情報発信とアジア・オセアニア地域での病理学の中核を担うために国際化に取り組む、など。

(5) 病理学に興味をもつ医学生を増やすため、学部学生の発表の場を準備するとともに、学部学生の参加に便宜を図る。

「具体的留意事項」

(1) 春期学術集会：春期学術集会の学術プログラムが研究と病理診断などのバランスの取れた内容とするため「病理診断講習会」「分子病理診断講習会」とシンポジウム、ワークショップ、一般発表演題との重なりを少なくする。そのために病理学会の事業である「病理診断講習会」「分子病理診断講習会」については、それぞれ病理診断講習会委員会、研究推進委員会は学会長と密接な連携により、その内容の充実を図る。専門医資格更新に必要な講習会を実施する。「宿題報告」は1会場で行い plenary とする。

(2) 秋期特別総会：「学術研究賞(A演説)(7-8件)」、「症例研究賞演説(B演説)」及び「病理診断特別講演(2件)」は1会場で行い plenary とする。会長は学術委員会と密な連携をとり、「シンポジウム」、「教育講演」、「公募演題」などは、会長の裁量にて複数会場で行なうことも可とする。IAP教育セミナーなどとの効果的な連動を考慮する。アジア若手研究者を招聘し発表する場として、インターナショナルポスターセッションを開催する。

(3) 学術集会プログラム統一性の確保：春期学術集会会長および秋期特別総会会長の立候補者は、学術集会プログラムの統一性の確保や類似プログラムの反復・乱立の回避などのため、プログラム内容や企画方針などを応募申請書に明記する。

(4) 国際化への対応：学術集会の国際化を促進するために、英語での参加登録、インターナショナルセッションの設置、日程表の英語版の作成などに努める。

(5) 実際の開催・運営に係る詳細な注意事項は別途定める。

平成26年11月19日 理事会策定

平成27年3月17日 同一部改定

平成28年3月25日 同一部改定

平成29年12月1日 常任理事会一部改定

8. 胃癌病理診断・バイオマーカー検査アップデート講習会開催のお知らせ

胃癌の病理診断やバイオマーカー検査について日常診断に役立つアップデートを行います。前半は胃癌の病理診断のポイントについて実践的な解説を行い、同時に病理医が知っておきたい臨床事項の基本を学びます。後半では、重要性が増すバイオマーカー検査について専門家による解説を行い、評価基準の均てん化を目指します。

テーマ：胃癌

会期：現地開催

2025年3月2日(日) 12:50～17:10

※オンデマンド配信の視聴も可

Web開催

2025年3月11日(火)～4月4日(金) 正午

※オンデマンド配信

会場：EBiS303 5F カンファレンススペース ABC
(東京・恵比寿)

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-8

エビススバルビル5F

<https://www.ebis303.com/info/access.html>

対象：日本病理学会 会員のみ

参加費：無料

資料：PDF提供 ※印刷媒体での提供なし

形式：現地講義、質疑応答/Web オンデマンド視聴

定員：現地開催 先着110名/

Web開催(オンデマンド配信) 制限なし

単位：

・受講後、確認テストとアンケートを提出後に「修了証」を授与いたします。

・単位付与はございません。

参加受付期間：2024年12月18日(水) 正午～

2025年3月31日(月) 17時

※現地参加の締め切りは2月28日(金) 17時まで
内容：

【第1部】胃癌の病理診断

- ・病理医が知っておきたい内視鏡診断・治療の基本
- ・ESD 検体の病理診断のポイント
- ・病理医が知っておきたい外科治療の基本
- ・手術検体の病理診断のポイント
- ・病理医が知っておきたい化学療法の基本

【第2部】胃癌バイオマーカー検査

- ・実態アンケート調査結果と検体取り扱いの確認
- ・HER2
- ・PD-L1
- ・MMRs/MSI
- ・CLDN18
- ・がん遺伝子パネル検査

プログラム：

https://www.pathology.or.jp/news/pdf/educational_grants.2024PG.pdf

世話人：牛久哲男(東京大学大学院医学系研究科人体病理学・病理診断学)

運営事務局：株式会社学会サービス内

〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-3-101

TEL：03-3496-6950 FAX：03-3496-2150

E-mail：support@gakkai.co.jp

主催：一般社団法人日本病理学会/アステラス Educational Grants「教育助成」プログラム

申込等詳細は下記HPをご参照ください。

<https://www.pathology.or.jp/news/whats/educational-grants.2024.html>

9. 「令和7年度 医師賠償責任保険制度」案内

令和7年度 医師賠償責任保険制度につきまして募集を開始致します。

【既加入者の方】

既加入会員の方におかれましては、自動継続となりますが、「変更手続き依頼書」を11月1日付けでお送り致しましたので、解約希望やお届け内容に変更ございます場合は、同封の封筒にて依頼書を返送頂きますようお願い申し上げます。また、医師賠償責任保険のご登録情報は、病理学会の会員システム登録情報とは連動しておりませんので、変更がございます場合には其々お手続き頂きますよう、お願い申し上げます。

【新規加入ご希望の方】

中途加入も可能となっておりますが、令和7年度 医師賠償責任保険加入募集につきましては、2月からのご加入となります。2月加入ご希望の場合、令和6年11月～令和6年12月13日までの申込書到着分となります。こちらを過ぎました分は次月へ繰越させて頂く場合がございますので、ご留意下さい。

令和7年「医師賠償責任保険制度」募集案内

<https://www.pathology.or.jp/news/insurance2025.pdf>

加入申込書のご依頼

一般社団法人 日本病理学会

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-17
神田 IN ビル 6階

TEL：03-6206-9070

E-mail：jsoffice@pathology.or.jp

保険内容に関するお問い合わせ先

取扱代理店

株式会社サリー・ジョイス・ジャパン

東京都千代田区三番町6三番町KB-6ビル5F

フリーダイヤル：0120-305-660

10. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

片桐	一	功労会員（令和4年12月25日ご逝去）
江島	栄	功労会員（令和6年2月19日ご逝去）
鈴木	昭男	功労会員（令和6年5月5日ご逝去）
倉田	毅	元学術評議員（令和6年7月ご逝去）
草間	博	功労会員（令和6年8月30日ご逝去）